

国道107号に道の駅、農産物直売所を

遠藤 忠裕



問 横手市は農産物開発、特産品開発、改良等支援推進をしている。また、旧平鹿中央商工会が勧めてきたルート107あきた広域連携事業がある。これらの事業推進の核となる施設として農業ゾーンの中心地域である平鹿町浅舞地区に道の駅と農産物直売所、加工所等を建設すべきだと思うが。

答 横手西部地区に直売所、加工所の構想は過去にもあった。運営主体や建設場所等が解決できずに今日まで。また、商工会が進めてきた広域連携推進事業も承知している。平鹿町浅舞地区は国道107号と県道野崎十文字線が交差するところで立地条件としては適した場所だと思っている。今年から発足した横手市産地収益力向上協議会に商工関係委員もいるので、その中で検討していきたい。

問 市民の利便性向上を最優先し来年5月上旬を目途に当面本庁南北庁舎、横手庁舎等を最大限活用集約する。将来、横手庁舎を本庁舎、かまくら館、水道庁舎を分庁舎とする

などの案を示した。当面とはいつ頃を目途にしての今回の集約化なのか。将来とはいえ横手庁舎を本庁舎とするのであれば市長以下三役は横手庁舎に入るべきと考えるが。

答 将来方針として、新たな庁舎建設はしない。当面は庁舎の老朽度を勘案し、既存の施設等を最大限に活用していきたいと考えている。将来的には本庁舎を横手庁舎としたいと示したが、当面は本庁舎は現在の南北庁舎としており、これまで通り南庁舎において仕事をさせていただきたい。



市長公室が入る現在の本庁舎

●その他の質問
○過疎地域自立促進計画、定住自立圏構想について

世界遺産への登録を目指す平泉と姉妹都市提携を結ぶ考えはないか

堀田 賢逸



問 大鳥井山遺跡が国の指定文化財になり大鳥井山が、前九年合戦、後三年合戦に関する清原光頼・頼遠父子の根拠地と判明した。清原光頼、頼遠父子は平泉を開いた藤原清衡の先祖だから、平泉の源は横手市にあることになる。平泉は世界文化遺産候補として国の登録推薦を受けようとしているが姉妹都市を結ぶ考えはないか。

答 平泉、中尊寺から「ハスの花」12株を譲り受け、笹隊山神社周辺に移植している。このような交流を重ねながら連携を深めていく。

問 文化財の探訪、半日観光をやっているが、文化財活用はどうするのか。

答 文化財遺産は流行り廃りが少なく、観光客の増加が期待できる。ハード面の保存整備と案内活動の充実を計り、人材育成の研修機会創出と団体の育成支援をする。

問 標柱や説明板等の整備方法は。

答 指定文化財131件を優先し整備していく。指定文化財以外にも可能な限り早く整備

する。

問 説明パンフレット入れを設置する考えはないか。

答 大鳥井山遺跡駐車場の案内板にパンフレットボックスを設置した。有効性を把握して他でも実施していきたい。

問 ホームページは専門用語使用で分かりづらい。大鳥井山遺跡を通して横手売り出すには分かり易い言葉に言い換える必要があるのでは。

答 検証しており、分かり易い形にしていく。

問 NPO等市民活動の支援について。

答 個別活動に対しての資金助成の相談があった場合は、県の助成制度照会等、南庁舎の地域づくり支援課を窓口として対応する。



文化財保護団体による視察 (金沢城址)